

安全教育の実践例と普及への課題

中井 宏

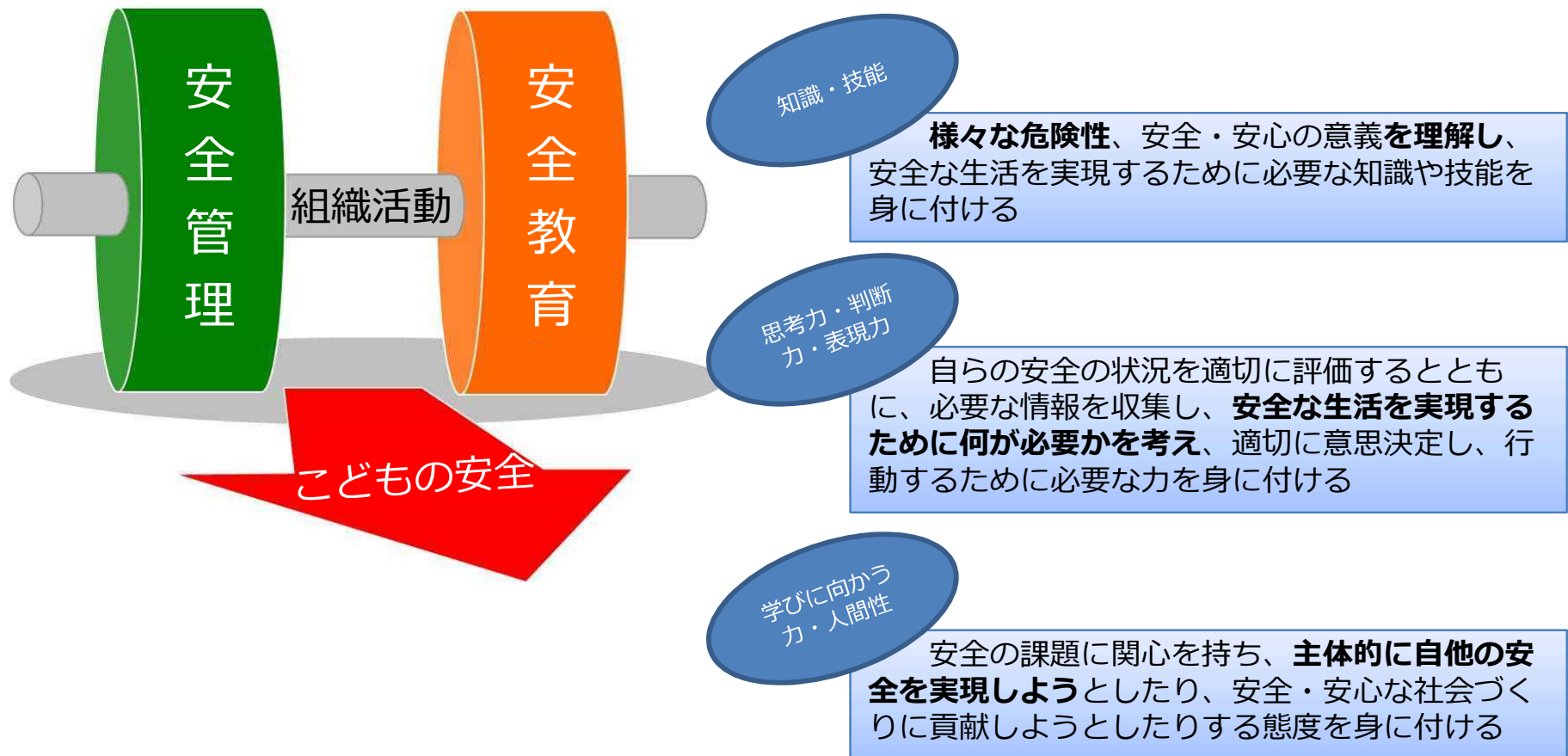
(大阪大学大学院人間科学研究科)

学校安全の考え方

学校安全参考資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（2019年改訂2版）より作成

事故の要因となる学校環境や児童生徒等の学校生活等における行動の危険を早期に発見し速やかに除去するとともに、事故等が発生した場合に備えておくことを目指す

日常生活全般における安全確保のための必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会作りに参加し貢献できるような資質・能力を育成することを目指す



児童向け安全教育「ひなどり」

ひ 標識（ひょうしき）作って
な なくそう 事故を
ど 「どこで どうする？」
り 理解（りかい）して

ひなどりは、敵からの回避方法、空の飛び方、餌の取り方などを学習してから巣立つ。転じて、小学生のうちに、事故防止に必要な身を守る方法を理解し、身に付けて欲しいとの願いを込めている。

大阪府内の公立小学校（4年生）を対象に、「校内版ひなどり」を実施

「ひなどり」の流れ

□対象者

- 大阪府下の公立小学校4年生児童
 - ・ 2クラス、計64名
- 進行は担任教諭に一任
- 総合的な学習の時間を充てた（計3日間、5コマ）

1. 危険箇所を見つける
2. 当該箇所での事故や負傷を予防する具体的な目標を自ら立てる
3. 具体的な目標を表すピクトグラムデザインを考え、描く
4. 自作したピクトグラムを貼りに行く

第1日ー1コマ目～2コマ目



あんぜん がっこうづくり
安全な学校作り

4年 組 番 ()



がっこう なか あぶ ぼしよ かんが
学校の中に、危ない場所はないか考えてみましょう。
けがをした場所や、危険を感じた場所がありますか？

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.



ぼしよ
そうした場所でケガをしないためにはどうしたらいいか
かんが
考えてみましょう

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.



児童が見つけた危険

遊具	うんていから落ちる	教室	教室でジャンパーが落ちていて、それにのって滑る	
	うんていの上から飛び降りる		教室の机で指を挟む	
	ブランコで斜めにこいでいる人とぶつかった		机の角にぶつかる	
	ジャングルジムで下を歩いていると、上から人が落ちてきた		イスで遊んでこける	
	ジャングルジムから飛び降りた		黒板のチョーク入れに頭を打つ	
	登り棒から落ちる		教室のガラスが割れる	
	登り棒の上に立つ		水筒が落ちてきて足に当たる	
	タイヤからサッカーゴールに飛び移る		教室の絵の具バッグに引っ掛かった	
	鉄棒で鼻を打つ		紙で手を切る	
	鉄棒から落ちる		教室のドアで遊んでいて、指を挟む	
運動場	運動場の縄跳びジャンプ台で転んだ	中庭	机に掛けている手さげにひっかかってこける	
	運動場で石につまずいて転んだ		手さげの取っ手に引っ掛かってこける	
	運動場のでこぼこしているところで転ぶ		中庭で石に引っ掛かって転んだ	
	ドッジボールでボールが当たって鼻血が出る		中庭の端にある溝	
	運動場で血豆が潰れた		体育館	体育館で滑って打撲
	運動場で遊んでいたら滑って転んだ			跳び箱で落ちそうになって擦り傷
階段	運動場で蜂に刺される	廊下	跳び箱、マット運動でケガをしやすい	
	階段の滑り止めにつまずく		一年生の教室の前の廊下がとても滑る	
	南校舎階段が暗いため、転びそうで危ない		保健室、図書室、音楽室などの床が滑りやすい	
	階段で友達と話をしている足踏み外した		廊下で走っていたら友達と衝突した	
	階段で遊んでいたら落ちた		雨の日、廊下を走って滑る	
	階段で友達が走っていたので危なかった		廊下の曲がり角でぶつかる	
給食	階段で友達に押されて転んだ	校舎外その他	鯉の池の近くで滑る	
	給食で熱い物をこぼして火傷を負う		図書館と学校の間コンクリートで転ぶ	
プール	給食のときに皿が割れる	不明	東門の前にある銀色の溝のふた	
	プール		夏は熱中症になる	
図工	プールサイド		木の物を触ってトゲが刺さる	
	図工でカッターの持ち方を間違えて、指を切る		ジャンパーのチャックを閉めるとき、指を挟む	
	図工の時間に手を切る		ポケットに手を入れていて、大事なときに手を付けなかった	
下足室	下足室の隣のコンクリートで転んだ		先生の手伝いをしていたら、画鋏がささる	
	下足室で誰かに押されて、角にぶつかった			

第1日—2コマ目



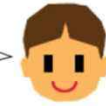
先ほど自分で考えた学校内の危ない場所に貼るためのポスターや標識などを考えてみましょう

どんなデザインが良いかなあ



パッと見て分かる絵を使ってはどうかしら

絵で伝われば、漢字をあまり習っていない下級生にも意味が伝わるね



案内情報や注意情報を図で知らせる記号をピクトグラム（ピクトグラフ）といいます
トイレや非常口、禁煙を表すマークをよく目にしますね



文字を使っても良いですが、遠くからも見やすく、一目で意味が分かるようなデザインが望ましいですね



だとすると、あまり多くの色を使わないほうが良さそうですね

2色か3色くらいを使ったマークが多いですね

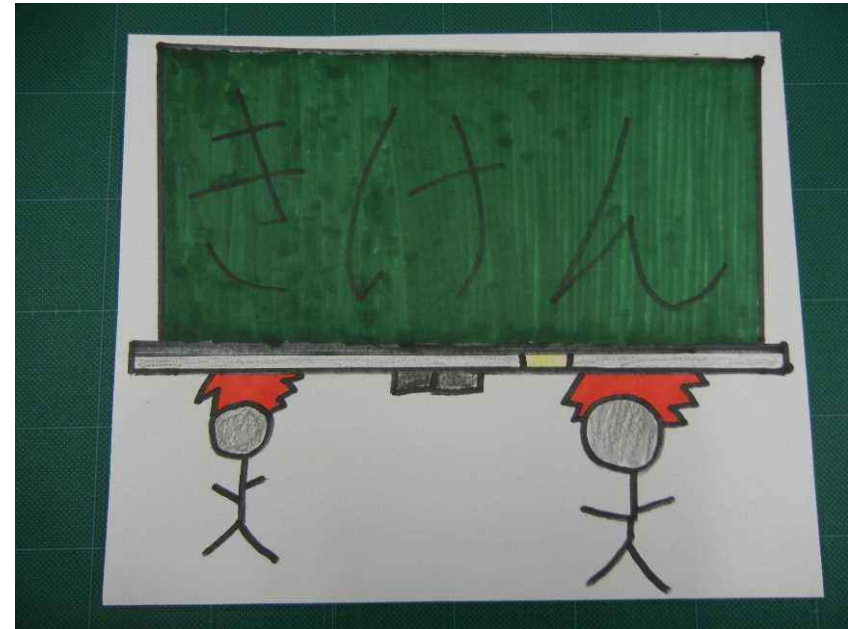


それでは、みなさん自身で標識・標示のデザインを考えてみましょう

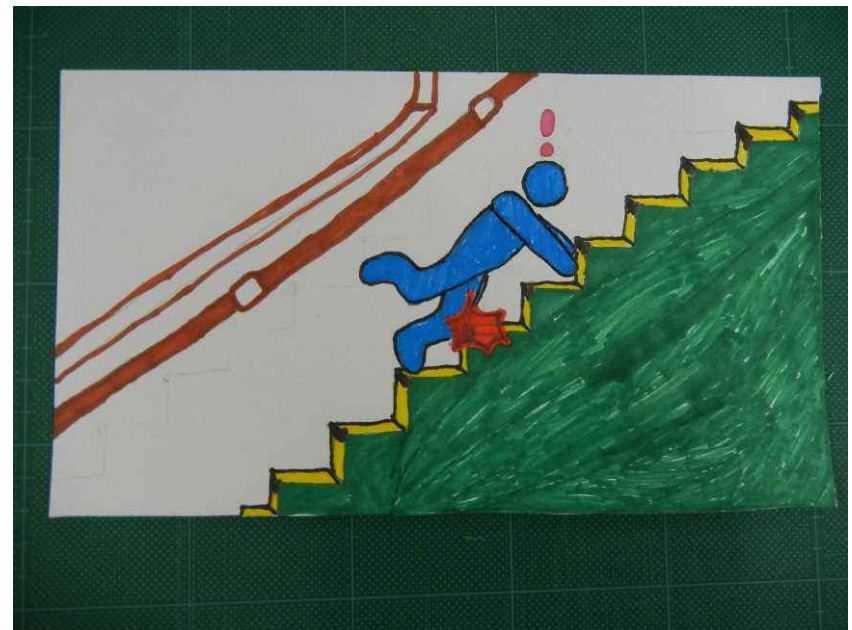
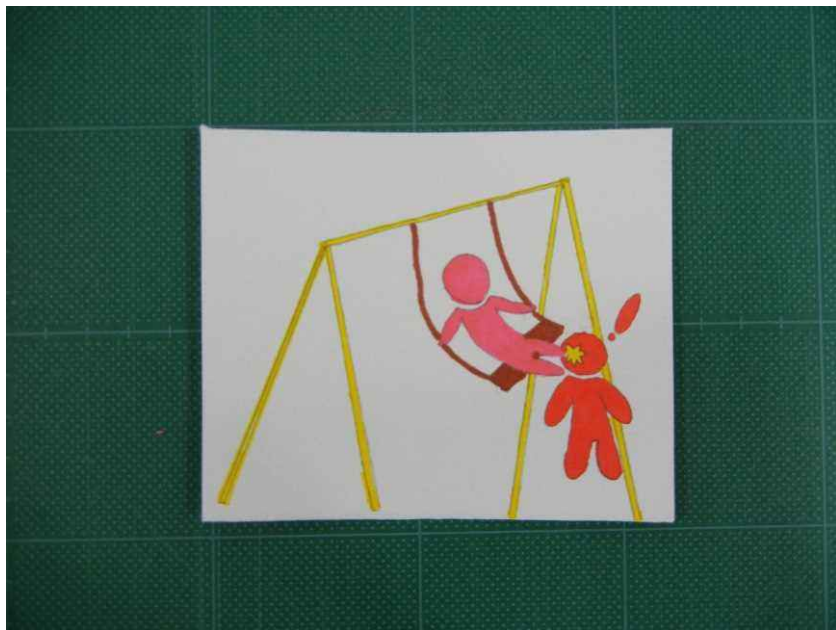
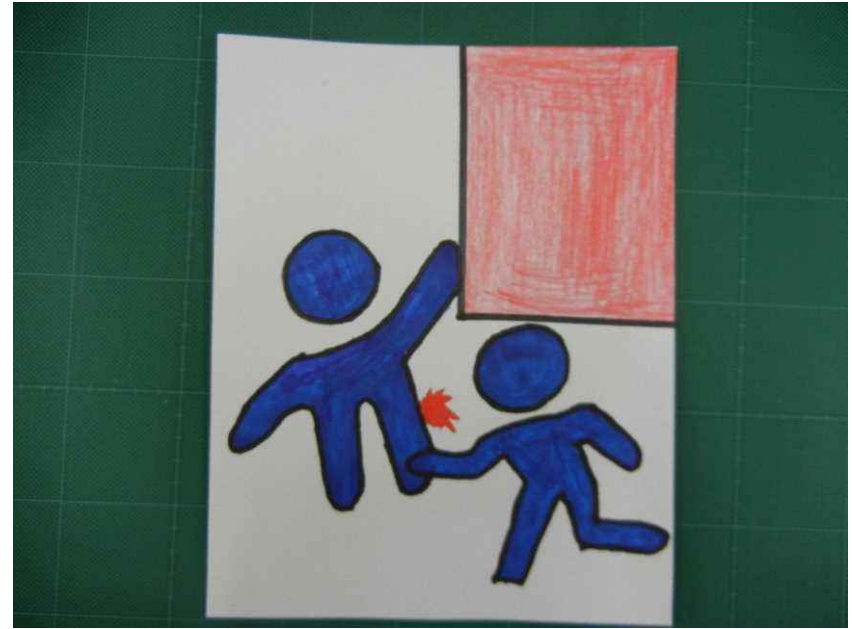
第2日—3、4コマ目



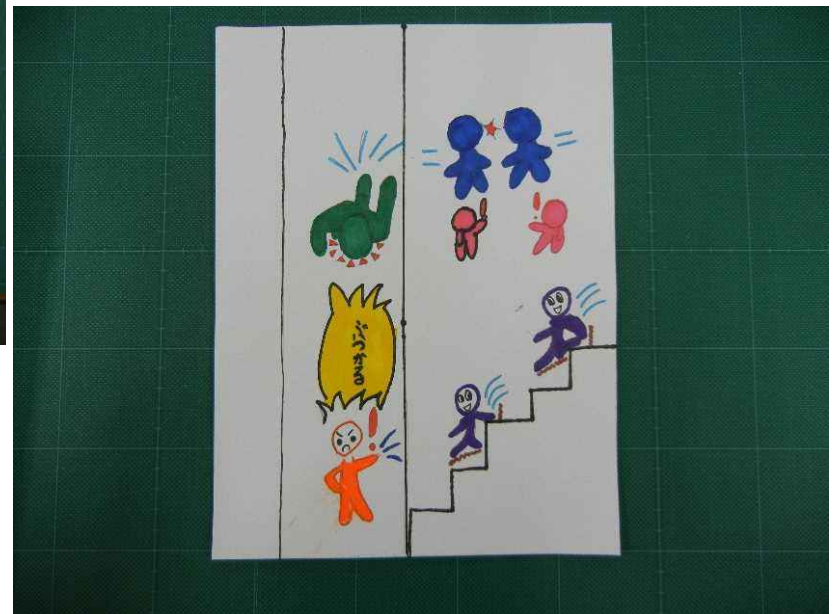
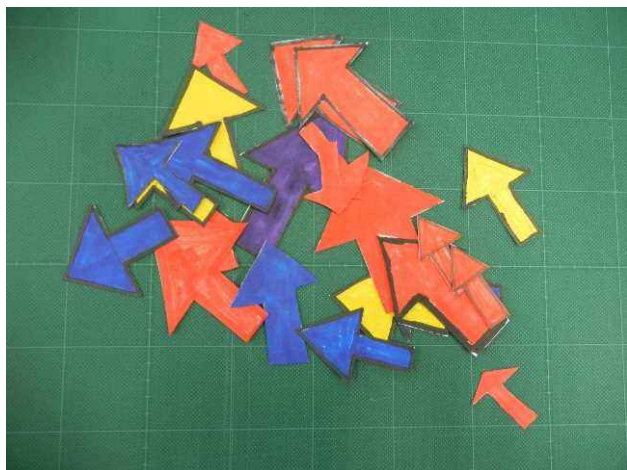
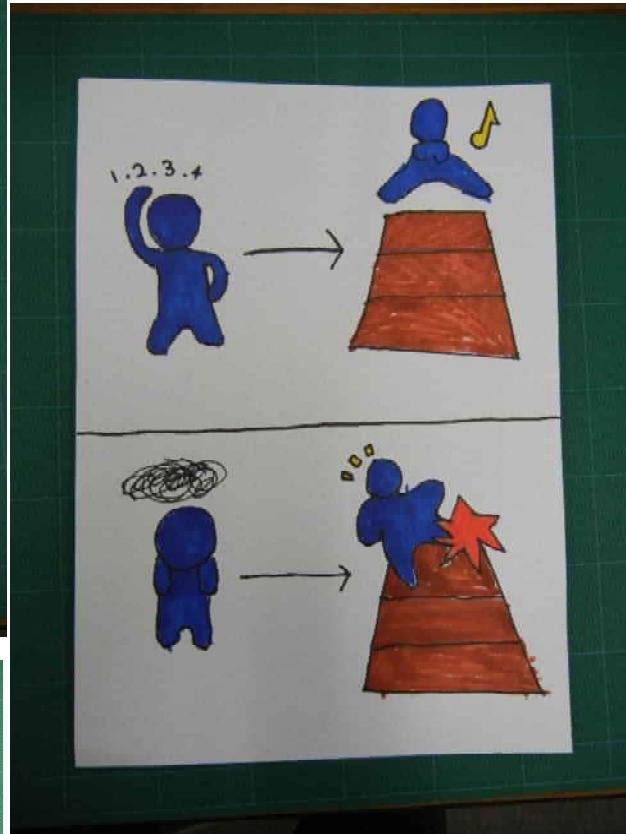
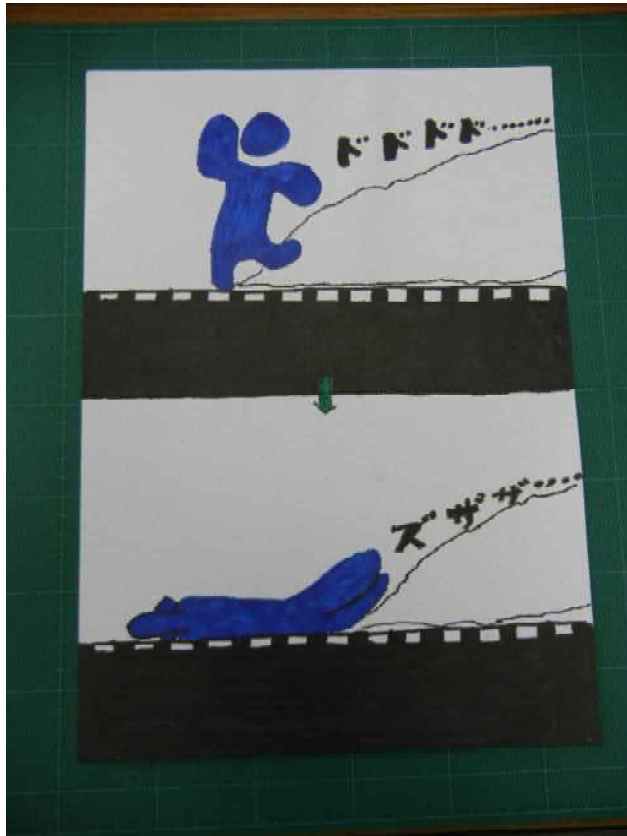
児童の作品一例



児童の作品一例



児童の作品一例



児童による標識作り

□全員が2時限以内に作品を完成させた

■64名によつてのべ105作品

- 時間が余つた場合は、複数個作つたり（同じものを複数or違うもの）、矢印（右側通行を示すもの）を作つたりした

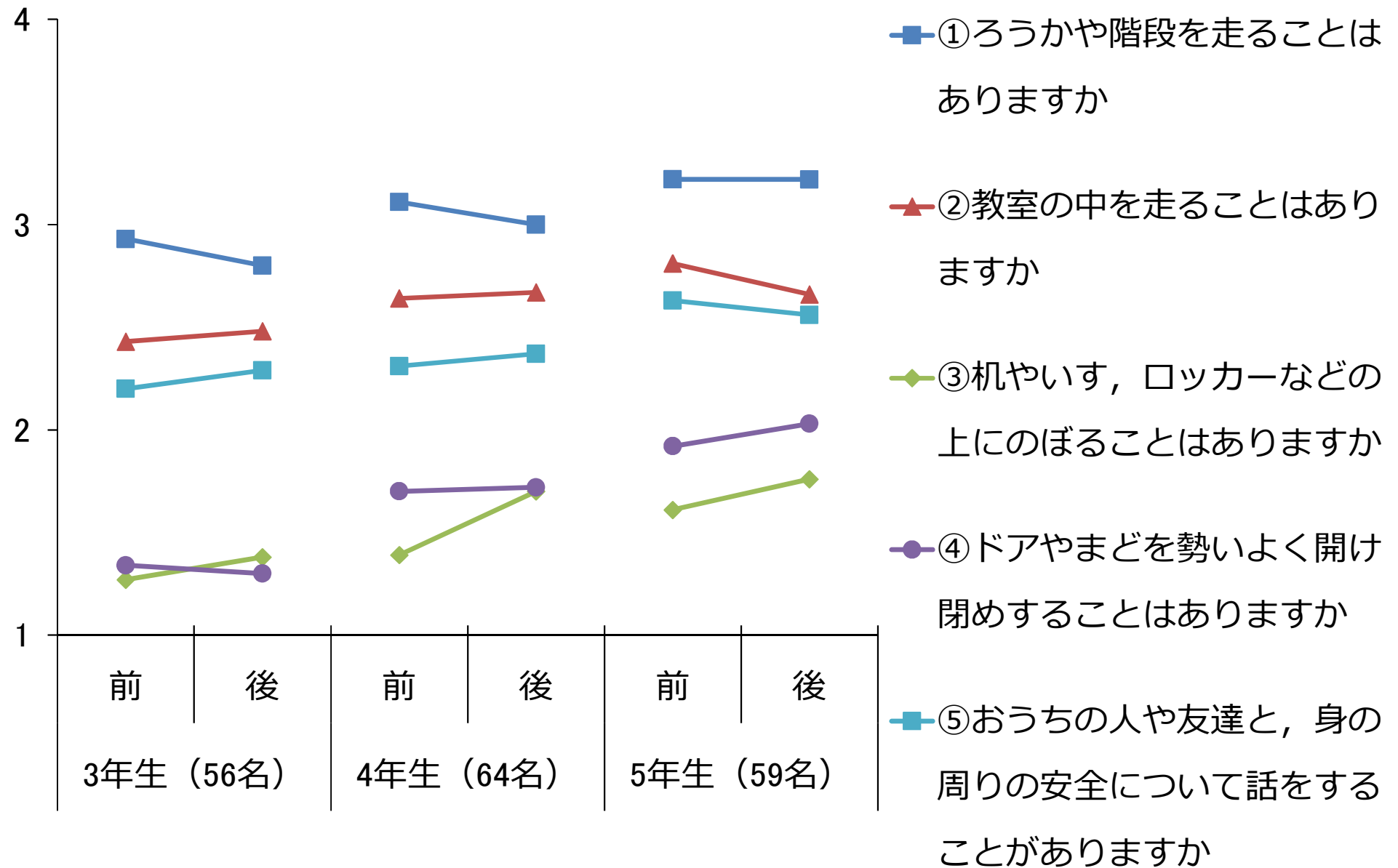
□画力の差異、例示したピクトグラムの影響

- 描きやすさが優先され、第1日に出てきた「危険箇所」および「具体的な行動目標」が十分に反映されなかつた点は課題

第3日—5コマ目



校内版ひなどりの効果測定



校内版ひなどりの効果測定

負傷を理由に保健室を訪ねた児童の延べ人数

		2013年		2014年			
		9/6~10/7	10/29~11/26		教育前	教育後	
				2年生	21	29	+38%
2年生	38	52	+37%	3年生	33	43	+30%
3年生	14	29	+107%	4年生	31	16	-48%
4年生	33	42	+27%	5年生	50	43	-14%
5年生	20	18	-10%				
計	105	141	+34%	計	135	131	-3%

ひなどり実施の影響とは必ずしも言い切れないが、教育対象学年では負傷数が半減し、全体でも前年同時期に比べると減少。

実践結果

□担任教諭からの報告

- 掲示した直後、「別の場所にも貼ったら良かった」との声
- 「○○くんが『走ったらあかん』って貼ってるから走らんところ」と立ち止まった児童
- 同級生の誰がどこにどのようなピクトグラムを掲示したか、3月の修了式まで互いに把握していた

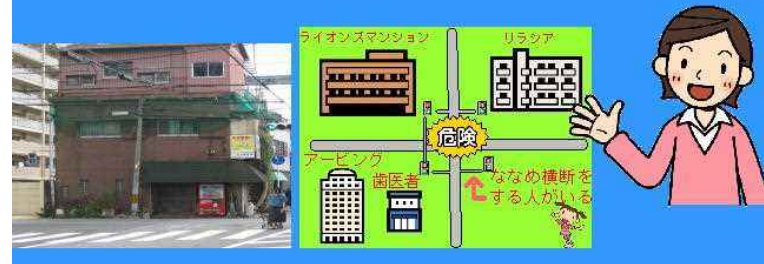
校外版ひなどり

あぶない[!]
カンカン^{おと}と音がなったら



わたらずにまとう

ななめ横断は危険です。
ちゃんと信号をわたりましょう
写真にあるおうちの前はせまいので通らないようにしましょう



段差注意



雨の日は、特にすべるので、危険です。
(鉄板)に気をつけよう。

鉄板の上は、
自転車をおして歩こう。



せまい道ゆっくりゆずり合って歩こう



「ひなどり」のポテンシャル

□ 自助・共助

- 校外での生活安全、交通安全、災害安全の教育ツールにもなり得る



実施・普及に際しての課題

□マニュアルの策定

- どこまでを気付かせ、どこから教えるか？
- 適切な対象学年は？
- 何の科目を充てるか？—総合以外に図工や教科科目の単元、プログラミング教育といかに関連づけるか？

□大人の協力

- 特に、校外での活動には大人の協力が不可欠
 - PTA、自治会、こども会、民生委員協議会、交通安全母の会、青少年健全育成連絡協議会、JAF交通安全実行委員会、婦人会、老人会、コミセン、商店街組合、消防団、交番、消防署、警察署など



安全教育はいつやるの？

□ 小学校学習指導要領総則（2017年）

- 安全に関する指導は、体育科、家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること

□ キャリア・パスポートとの絡み

■ キャリア・パスポート

- 小学校から高校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びHR活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫したポートフォリオ
 - 新学習指導要領の特別活動…「学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う」際に、児童生徒が「活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」とされている

□ 高等学校では、総合的な探究の時間は？

- 生徒自身が「問を見出す」ことが重要なので、押しつけはよくないが…

キャリア教育

□ 就業体験や進路指導だけに留まらず、自らのキャリア形成のために必要な様々な汎用的能力を育てていくものであり、学校の教育活動全体を通して行うもの

■ 学校が伸ばそうとしている「**基礎的・汎用的能力**」

- 人間関係形成・社会形成能力
 - 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等
- 自己理解・自己管理能力
 - 自己の役割の理解、前向きに考える力、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等
- 課題対応能力
 - 情報の理解・選択・処理など、本質の理解、原因の追及、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等
- キャリアプランニング能力
 - 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等

キャリア・パスポートの指導

□ 記述や自己評価の指導

- 教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげながら、学校、**家庭及び地域における**学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努めなければならない

- 教科・科目や学校行事のみの自己評価票ではない

① 教科学習

② 教科外学習（学校行事、児童会・生徒会活動、クラブ活動、部活動など①以外の学校内活動）

③ 学校外の活動（ボランティア等の地域活動、家庭内での取組、習い事などの活動）

– **②や③に「安全」に関わる活動を入れることができるのでは？**

文科省による例示資料

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1419917.htm

いちねんせいの みなさんへ

いよいよ がっこうでのせいかつが はじまりました。

がっこうでは ともだちといっしょに なかよくべんきょうしたり うんどうしたりします。だれとでもなかよく ちからをあわせてがんばることができるように せんせいたちも おうえんしていきます。

このばすぼーとは みなさんのせいちょうを きろくするためのものです。せんせいたちも このばすぼーとをみながら みなさんのせいちょうを みまもっていきます。

地域や学校の願いを反映させた、温かなメッセージを贈りましょう。



しょうがっこうせいかつで がんばってほしいこと

- ともだちと なかよくしましょう
べんきょうやうんどう なんでもなかよく がんばろう
- はじめてのことに ちゃれんじしましょう
さいしょはしんぱいだけど ゆうきをもってちょうせんしよう
- わからないことは しつもんしましょう
みんながたずけてくれます どんどんしつもんしよう
- すずんで べんきょうやおてつが
がっこうはもちろん いえでもべんきょう

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に関わる内容で例示しています。学校の教育目標等に応じて、設定してください。

○ ○ しょうがっこうのいちねんせいのみなさんへ

地域や学校の実態に応じてメッセージを加えてください。各発達段階における成長について、学校が期待していることを書きましょう。

5: 新しい学年への前向きな気持ちで書けるよう支援します。
4年生で記入したページを参考にしながら、自分の成長を感じ、さらに力を伸ばしていこうという意欲につなげます。振り返りから見直しをもつ流れを大切にします。

名前

各ページの記入項目は、一度に記入しても、項目ごとに分割して記入しても、どちらでも構いません。実態や取組に合わせて記入します。

(写真・似顔絵)

自己肯定感を高める項目。高学年になると書きづらさが出てくるが、人と比べずに自分なりに思うことを書かせたい。これまでに書いたページを参考にしてもよい。書けない児童には、担任や友達が悪うよいところなどを伝えるなどの支援をします。

好きなこと・今夢中になっていること

好きなことや夢中になっていることが、将来の希望や夢につながります。

将来の夢や目標

就きたい職業、「オリンピックに出たい」というような目標、「○○な大人になりたい」といったりたい自分の姿など様々な夢や目標があります。全てを認め、その夢に向かって、今何をがんばるか考えるきっかけにします。

○こんな自分になりたい！！

こんな自分になりたい	そのためにすること
(学習面)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間でどんな自分になりたいかをイメージさせ、そのための具体的な行動目標を意思決定させます。 ・定期的に自分が決めた目標を朝の会などで振り返ります。途中で目標が変わる児童もいるので、その都度、追加していきます。
(生活面)	
(家庭・地域)	
(習い事・資格・好きなことなど)	
こんな5年生にしたい、そのために自分がすること	<ul style="list-style-type: none"> 集団のために、自分に何ができるのかを考えることは、社会で生きていくために必要な資質・能力の育成につながります。
高学年としてがんばること (児童会活動・クラブ活動・学校行事・登下校など)	<ul style="list-style-type: none"> 5年生には学校の中でどんな役割があるのかを伝えます。

先生から

児童が記入したことに寄り添ったコメントが自己肯定感を高めることにつながります。保護者には、コメントを記入してもらうことの意義を説明します。

家の人などから

保護者からのコメントを得ることが難しい場合、保護者以外の方からのコメントをもらうなどの配慮が必要です。また、このシートを家庭訪問等で活用し、コメントの内容を考えてもらうことができます。

安全に関わる活動と基礎的・汎用的能力

- キャリア・パスポートの例示資料内に、「安全」や「いのち」といった用語を登場させてはどうか
 - 「なりたい自分」や「将来の生き方」を考えさせる際、「安全」のことを考慮させられないだろうか
 - 安全に関わる活動で、「基礎的・汎用的能力」はどのように伸びるか？
 - 人間関係形成・社会形成能力
 - » 事故防止・防犯・防災の観点でのコミュニケーション
 - 自己理解・自己管理能力
 - » 安全に関わるメタ認知
 - 課題対応能力
 - » 安全を阻害する要因の発見、対策立案、実行
 - キャリアプランニング能力
 - » ???

ルーブリック

□ 「主体的に学習に取り組む態度」の育成

⇒アクティブラーニングが広く導入

⇒学習成果を評価する仕組み…**ルーブリック**

□交通安全教育のルーブリック例

	S	A	B	C
知識・技能	交通事故の実態や、交通に関する法規についての知識をもとに、交通事故が生起するメカニズムを理解し、その対策を理解している。	交通事故の実態や、交通に関する法規についての知識をもとに、身近な道路の危険を理解している。	交通事故の実態や、交通に関する法規について応用的な知識を有している。	交通事故の実態や、交通に関する法規について基礎的な知識を有している。
思考力・判断力・表現力	交通安全の知識を地域の大人や子どもたちへも伝えることができる。	交通安全の知識を他校の生徒にも伝えることができる。	交通安全の知識を校内の他生徒に伝えることができる。	家族や親しい友人に交通安全の知識を伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	サポートなしでも大人数を巻き込んだ実践活動を実施できる。	サポートがあれば大人数を巻き込んだ実践活動を実施できる。	中程度の人数と連携した実践活動を実施できる。	少人数と連携した実践活動を実施できる。
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・